

【R 6 年度】重点目標の取組・概要 （泉州山手線との交通結節点（山直東）におけるまちづくり事業化〔広域幹線計画事業・広域幹線沿道整備調査〕

担当課（内線）	都市整備課広域連携軸整備担当（3125）	個別目標の方向性	地域の活性化を導く拠点の形成を進める
重点目標	2 経済・交流が活発な岸和田の実現	行政の役割	地域の活性化につながる新たな拠点の整備を進める

現状と課題	課題に対する取組の内容（めざす成果・期間・対象者・手法など）
本事業は、泉州山手線の延伸に伴い、現在市街化調整区域となっている沿道の地区を対象に、総計、都市マスといった上位計画に基づき、無秩序な土地利用を防止し泉州山手線の整備効果の最大化を図ることを目的とするもの。 泉州山手線の事業主体である大阪府からもその取組みを強く求められている。（令和元年7月の泉州山手線の整備に関する覚書の中にも記載）	【中期的(4～5年後)にめざす成果】 ・泉州山手線の事業着手とまちづくりに合わせた整備の進捗 まちづくりと泉州山手線の延伸は同様のスケジュール感を持って進めて行く必要があり、誘致企業の操業やまちびらきに大きく関わってきます。 【成果に向けての各年度の進め方】 R 6 年度 山直東地区の都市計画決定、土地区画整理組合の設立、まちづくり事業の着手、地権者説明会や相談会等実施 （まちづくり研究会や土地区画整理組合で地域と調和したにぎわいのあるまちづくりに向けルール作り等検討） R 7 年度～ まちづくり事業（公共施設整備工事、土地区画整理事業）、順次誘致企業の決定、地権者説明会や相談会等実施 （まちづくり研究会や土地区画整理組合で地域と調和したにぎわいのあるまちづくりに向けルール作り等検討） 【R 6 年度の取組内容（期間・対象者・手法など）】 （期間）山直東まちづくりについては、R 1 2 年度までの8年間（事業期間は7年）を想定 （対象者）仮称）岸和田市山直東土地区画整理組合、岸和田市 （手法）土地区画整理事業＋各種公共施設整備等

R 6 年度の事業費（内訳）
広域幹線沿道整備調査事業 ￥54,635（千円） （内訳） ○不動産鑑定評価、分筆等法務局関連手数料 ○土地区画整理事業関連委託料（まちづくり研究会開催支援、組合設立に向けた準備組合技術支援） ○公有財産土地購入費 ○その他

R 7 年度以降の想定事業費（ランニング経費）	取組の進捗・成果を測る指標	成果・指標が未達成の場合の取扱い
R 7 年度 194,667（千円） R 8 年度 453,654（千円） R 9 年度 535,981（千円） R 10 年度 287,181（千円） R 11 年度 196,591（千円） R 12 年度 53,791（千円） ※山直東まちづくり事業分のみ計上、泉州山手線の進捗に合わせてR 1 3 以降は光明地区の整備に着手予定	○山直東まちづくりに関する地域住民の活動回数（山直東まちづくり研究会、土地区画整理組合） 12回/年（R 6） ※累計 12回（R 4）➡48回（R 7）	※必ず縮小・廃止時期を記載すること ・府への要望の強化 ・地域住民への周知活動の強化

ロジックモデル【事業立案時点】

泉州山手線延伸事業（広域連携軸の整備）

【インプット】

- ・ 地権者
- ・ 大阪府
- ・ 岸和田市
- ・ 予算

【活動】

- ・ 泉州山手線整備推進協議会
- ・ 調査（境界確認、測量）
- ・ 設計（地区計画地区施設：道路）

指標：泉州山手線整備推進協議会の活動回数

【アウトプット】

- ・ 説明会、相談会
- ・ まちづくり研究会活動

指標：地域住民の活動回数

【初期アウトカム】

- ・ 地域理解度の向上
- ・ 土地利活用の検討

指標：地域住民の活動回数

指標：地域住民の活動回数

【中間アウトカム】

- ・ 地域の機運上昇
- ・ 山直東地区の都市計画決定

広域幹線沿道整備調査事業（広域交流拠点の整備）

【インプット】

- ・ 準備組合
- ・ 業務代行予定者
- ・ まちづくり研究会
- ・ 岸和田市
- ・ 予算

【活動】

- ・ 組合設立に向けた検討
- ・ 山直東まちづくり基本構想及び基本計画に沿った事業推進

指標：地域住民の活動回数

【アウトプット】

- ・ 説明会、相談会
- ・ 組合設立に向けた技術支援
- ・ まちづくり研究会活動

指標：地域住民の活動回数

【初期アウトカム】

- ・ 地域理解度の向上
- ・ 土地利活用の検討
- ・ 事業への合意形成

指標：地域住民の活動回数

【最終アウトカム】

- ・ 組合設立
- ・ 継続的な事業の実現

指標：地域住民の活動回数

その他（財源、他団体の状況、行政サービスとしての適正性について など）

【泉州山手線延伸に関する他市状況】

貝塚市 事業スケジュール表（貝塚中央線～水間和泉橋本停車場線区間）

令和2～3年度 測量・設計、令和4～8年度 用地買収、令和7～11年度 工事

■ 中期的にめざす成果に対する達成度



- 泉州山手線の事業着手とまちづくりに合わせた整備の進捗

■ R 6 年度において実施・実現できたこと

- 山直東地区の都市計画変更
- 地域主体のまちづくりに向けた山直東まちづくり研究会の組織改編
- 地権者アンケート、個別説明や相談会等実施

■ R 6 年度における達成度（当初の実施予定に対する達成度）



- 山直東地区の都市計画決定、土地区画整理組合の設立
- まちづくり事業の着手
- 地権者説明会や相談会等実施

■ 主な「取組の進捗・成果を測る指標」の状況

測定有無	指 標 名	単位	基準値（年次）	目標値（年次）	R 6 年度実績値
	山直東まちづくりに関する地域住民の活動回数	回	12（2022）	累計48（2025）	21

■ R 6 年度において実施・実現できなかったこと

- 土地区画整理組合の設立

■ 課題分析

- 関係機関協議に時間を要したことにより事業計画案の作成が遅延している

■ ロジックモデルの振り返り

- ロジックモデルにおいて設定したとおりの活動及びアウトプット算出を実現でき、徐々に初期アウトカムの発現が進んでいる
- 引き続き、事業を推進し、アウトカムの発現に努める

■ 次年度以降の予定・改善内容

- R 7 年度においては、R 6 に引き続き土地区画整理組合設立及び事業着手を目指す
- 山直東まちづくり研究会においては、地権者説明や個別相談等実施し、まちづくりへの理解度の向上と土地利活用に向けた検討を行う